

新規採用医薬品 No. 132

2024年10月

一宮市立市民病院
薬剤局

【新規正規採用医薬品】

アネレム静注用 50mg

ムンディファーマ

組成：1V レミマゾラムとして 50mg

効能・効果：全身麻酔の導入及び維持

用法・用量：〈導入〉

通常、成人には、レミマゾラムとして 12mg/kg/時の速度で、患者の全身状態を観察しながら、意識消失が得られるまで静脈内へ持続注入する。
なお、患者の年齢、状態に応じて投与速度を適宜減速すること。

〈維持〉

通常、成人には、レミマゾラムとして 1mg/kg/時の速度で静脈内への持続注入を開始し、適切な麻酔深度が維持できるよう患者の全身状態を観察しながら、投与速度を適宜調節するが、上限は 2mg/kg/時とする。

なお、患者の年齢、状態に応じて投与開始速度を適宜減速すること。

覚醒徴候が認められた場合は、最大 0.2mg/kg を静脈内投与してもよい。

1. 本剤は超短時間作用型ベンゾジアゼピン系の静脈麻酔薬であり、有効成分のレミマゾラムは GABA_A 受容体のベンゾジアゼピン結合部位を介して、主要な抑制性神経伝達物質である GABA の GABA_A 受容体への結合を促進させることで麻酔・鎮静作用を示す製剤である。
2. 本剤は循環抑制作用が少ない、投与時の注射部位反応が少ない、拮抗薬フルマゼニルによって拮抗される、半減期は既存の類似薬より短く拮抗薬であるフルマゼニルと同程度である、代謝に CYP は寄与しておらずエステラーゼによって加水分解されるため臨床上問題となる薬物相互作用を引き起こす可能性が低い、代謝物（加水分解物）は活性を有していないなどの特長を有する製剤である。
3. 本剤は高齢者や循環動態が不安定な患者も含め、全身麻酔を施行する幅広い患者に対して安全かつ有効で持続投与が可能な製剤である。
4. 本剤は麻酔科限定採用薬である。
5. 薬価は 1V 2,218 円。

コミナティ筋注シリンジ 12歳以上用

ファイザー

組成：1筒中 SARS-CoV-2 のスパイクタンパク質をコードする mRNA 0.030mg
(RNA 総量として)

効能・効果： SARS-CoV-2 による感染症の予防

用法・用量： 1回 0.3mL を筋肉内に接種する。

1. 本剤はSARS-CoV-2 のスパイクタンパク質をコードするmRNAを脂質ナノ粒子に封入したワクチンである。
2. 本剤はスパイクタンパク質に対する中和抗体産生及び細胞性免疫応答が誘導されることで、SARS-CoV-2による感染症の予防に寄与する製剤である。
3. 本剤は1用量プレフィルドシリンジの製剤である。
4. 薬価は なし。

ノイロビタン配合錠

LTL ファーマ

組成：1錠中 オクトチアミン 25mg
日局リボフラビン 2.5mg
日局ピリドキシン塩酸塩 40mg
日局シアノコバラミン 0.25mg

効能・効果： ○本剤に含まれるビタミン類の需要が増大し、食事からの摂取が不十分な際の補給（消耗性疾患、妊産婦、授乳婦等）

○下記疾患のうち、本剤に含まれるビタミン類の欠乏又は代謝障害が関与すると推定される場合

神経痛、筋肉痛・関節痛、末梢神経炎・末梢神経麻痺

効果がないのに月余にわたって漫然と使用すべきでない。

用法・用量： 通常成人1日1～3錠を経口投与する。

なお、年齢、症状により適宜増減する

1. 本剤はオクトチアミン（ビタミンB₁誘導体）に、リボフラビン（ビタミンB₂）、ピリドキシン塩酸塩（ビタミンB₆）及びシアノコバラミン（ビタミンB₁₂）が配合された製剤である。
2. 本剤は含有するビタミンB群の各成分が代謝賦活作用を有し、神経組織代謝機構に作用して各種神経症状、無力状態、衰弱状態等を改善する製剤である。
3. 本剤はビタミンB₁類大量投与により、血中・臓器内ビタミンB₂濃度が減少することの対策として、ビタミンB₂を添加した製剤である。
4. 薬価は 1錠 5.8 円。

バブースモ硝子体内注射液 120mg/mL

中外製薬

組成：1V（0.24mL）中 ファリシマブ（遺伝子組換え） 28.8mg

効能・効果： ○中心窩下脈絡膜新生血管を伴う加齢黄斑変性

○糖尿病黄斑浮腫

○網膜静脈閉塞症に伴う黄斑浮腫

用法・用量： 〈中心窩下脈絡膜新生血管を伴う加齢黄斑変性〉

ファリシマブ（遺伝子組換え）として 6.0mg（0.05mL）を 4 週ごとに 1 回、通常、連続 4 回（導入期）硝子体内投与するが、症状により投与回数を適宜減じる。その後の維持期においては、通常、16 週ごとに 1 回、硝子体内投与する。なお、症状により投与間隔を適宜調節するが、8 週以上あけること。

〈糖尿病黄斑浮腫〉

ファリシマブ（遺伝子組換え）として 6.0mg（0.05mL）を 4 週ごとに 1 回、通常、連続 4 回硝子体内投与するが、症状により投与回数を適宜減じる。その後は、投与間隔を徐々に延長し、通常、16 週ごとに 1 回、硝子体内投与する。なお、症状により投与間隔を適宜調節するが、4 週以上あけること。

〈網膜静脈閉塞症に伴う黄斑浮腫〉

ファリシマブ（遺伝子組換え）として 1 回あたり 6.0mg（0.05mL）を硝子体内投与する。投与間隔は、4 週以上あけること。

1. 本剤は血管内皮増殖因子 A（vascular endothelial growth factor-A：VEGF-A）及びアンジオポエチン（angiopoietin）-2（Ang-2）に 選択的に結合する眼科領域初のヒト化二重特異性免疫グロブリン G（IgG）1 抗体である。
2. 本剤は中心窩下脈絡膜新生血管を伴う加齢黄斑変性、糖尿病黄斑浮腫及び網膜静脈閉塞症に伴う黄斑浮腫における病的血管新生や血管透過性亢進を引き起こす VEGF-A に加え、血管不安定化シグナルとして働く Ang-2 を同時に阻害し、血管を安定化させることで効果を発揮する製剤である。
3. 薬価は 1V 163,894 円。

フェスゴ配合皮下注 MA

中外製薬

組成：1V（10mL）中 ペルツズマブ（遺伝子組換え） 600mg
トラスツズマブ（遺伝子組換え） 600mg
ボルヒアルロニダーゼ アルファ（遺伝子組換え） 20000U

効能・効果： ○HER2 陽性の乳癌

○がん化学療法後に増悪した HER2 陽性の治癒切除不能な進行・再発の結腸・直腸癌

用法・用量： 〈HER2 陽性の乳癌〉

他の抗悪性腫瘍剤との併用において、通常、成人に対して 1 日 1 回、ペルツズマブ（遺伝子組換え）、トラスツズマブ（遺伝子組換え）及びボルヒアルロニダーゼ アルファ（遺伝子組換え）として初回投与時にはそれぞれ 1200mg、600mg 及び 30000U を、2 回目以降はそれぞれ 600mg、600mg 及び 20000U を、初回投与時には 8 分以上、2 回目以降は 5 分以上かけて 3 週間間隔で皮下投与する。ただし、術前・術後薬物療法の場合には、投与期間は 12 カ月までとする。

〈がん化学療法後に増悪した HER2 陽性の治癒切除不能な進行・再発の
結腸・直腸癌〉

通常、成人に対して1日1回、ペルツズマブ（遺伝子組換え）、トラスツズマブ（遺伝子組換え）及びボルヒアルロニダーゼ アルファ（遺伝子組換え）として初回投与時にはそれぞれ 1200mg、600mg 及び 30000U を、2 回目以降はそれぞれ 600mg、600mg 及び 20000U を、初回投与時には 8 分以上、2 回目以降は 5 分以上かけて 3 週間間隔で皮下投与する。

1. 本剤はペルツズマブ及びトラスツズマブをそれぞれ固定用量で配合し、さらに薬液の浸透吸収促進を目的としてボルヒアルロニダーゼ アルファを配合した皮下注射剤である。
2. 本剤に含まれているペルツズマブ及びトラスツズマブは包括的に HER2 シグナルを遮断することによる抗腫瘍作用を示し、ボルヒアルロニダーゼ アルファは結合組織のヒアルロン酸を加水分解することによる薬剤注入時の抵抗を減少させ皮下組織の浸透性増加作用を示すと考えられている。
3. 薬価は 1V 257,938 円。

プレベナー20 水性懸濁注

ファイザー

組成：1V (0.24mL) 中

ポリサッカライド血清型 1	: 2.2 μ g
ポリサッカライド血清型 3	: 2.2 μ g
ポリサッカライド血清型 4	: 2.2 μ g
ポリサッカライド血清型 5	: 2.2 μ g
ポリサッカライド血清型 6A	: 2.2 μ g
ポリサッカライド血清型 6B	: 4.4 μ g
ポリサッカライド血清型 7F	: 2.2 μ g
ポリサッカライド血清型 8	: 2.2 μ g
ポリサッカライド血清型 9V	: 2.2 μ g
ポリサッカライド血清型 10A	: 2.2 μ g
ポリサッカライド血清型 11A	: 2.2 μ g
ポリサッカライド血清型 12F	: 2.2 μ g
ポリサッカライド血清型 14	: 2.2 μ g
ポリサッカライド血清型 15B	: 2.2 μ g
ポリサッカライド血清型 18C	: 2.2 μ g
ポリサッカライド血清型 19A	: 2.2 μ g
ポリサッカライド血清型 19F	: 2.2 μ g
ポリサッカライド血清型 22F	: 2.2 μ g
ポリサッカライド血清型 23F	: 2.2 μ g
ポリサッカライド血清型 33F	: 2.2 μ g
CRM197	: 約 51 μ g (たん白質量として)

- 効能・効果： ○高齢者又は肺炎球菌による疾患に罹患するリスクが高いと
考えられる者
肺炎球菌（血清型 1、3、4、5、6A、6B、7F、8、9V、10A、11A、12F、
14、15B、18C、19A、19F、22F、23F 及び 33F）による感染症の予防
- 小児
肺炎球菌（血清型 1、3、4、5、6A、6B、7F、8、9V、10A、11A、12F、
14、15B、18C、19A、19F、22F、23F 及び 33F）による侵襲性感染症の
予防
- 用法・用量： 〈高齢者又は肺炎球菌による疾患に罹患するリスクが高いと考えられる
6 歳以上の者：肺炎球菌による感染症の予防〉
1 回 0.5mL を筋肉内に注射する。
- 〈肺炎球菌による疾患に罹患するリスクが高いと考えられる
6 歳未満の者：肺炎球菌による感染症の予防〉
1 回 0.5mL を皮下又は筋肉内に注射する。
- 〈小児：肺炎球菌による侵襲性感染症の予防〉
- ・ 初回免疫：通常、1 回 0.5mL ずつを 3 回、いずれも 27 日間以上の
間隔で皮下又は筋肉内に注射する。
 - ・ 追加免疫：通常、3 回目接種から 60 日間以上の間隔をおいて、
0.5mL を 1 回皮下又は筋肉内に注射する。
1. 本剤は 13 価肺炎球菌結合型ワクチンと共通する 13 血清型（1、3、4、5、6A、6B、7
F、9V、14、18C、19A、19F 及び 23F）に加え、7 つの血清型（8、10A、11A、12F、
15B、22F 及び 33F）の PnPs-ジフテリア交差反応性物質 197（CRM197）結合体を有
効成分とし、アジュバント（免疫補助剤）として、リン酸アルミニウムを添加した
20 価肺炎球菌結合型ワクチンである。
 2. 本剤は高齢者又は肺炎球菌による疾患に罹患するリスクが高いと考えられる者及び
2 ヶ月齢以上 6 歳未満の小児における本剤の接種により、T 細胞依存性の免疫応答
及び抗体応答が誘導され、肺炎球菌感染症の予防に寄与するとともに、メモリーB 細
胞の産生を誘導することにより、肺炎球菌に対する免疫記憶が成立する製剤である。
 3. 本剤は 2025 年 2 月末日まで市販直後調査の対象となっている。
 4. 本剤はフォーミュラリ検討小委員会にて小児に対する肺炎球菌ワクチンの推奨薬に
決定した製剤である
 5. 薬価は なし。

ベイフォータス筋注 50mg・100mg シリンジ

サノフィ

組成： 50mg 1 シリンジ(0.5mL)中 ニルセビマブ（遺伝子組換え） 50mg
100mg 1 シリンジ(1.0mL)中 ニルセビマブ（遺伝子組換え） 100mg

効能・効果： 1. 生後初回又は 2 回目の RS ウイルス（Respiratory Syncytial Virus）
感染流行期の重篤な RS ウイルス感染症のリスクを有する新生児、乳児
及び幼児における、RS ウイルス感染による下気道疾患の発症抑制

2. 生後初回の RS ウイルス感染流行期の 1. 以外のすべての新生児及び乳児における RS ウイルス感染による下気道疾患の予防

用法・用量： 生後初回の RS ウイルス感染流行期には、通常、体重 5kg 未満の新生児及び乳児は 50mg、体重 5kg 以上の新生児及び乳児は 100mg を 1 回、筋肉内注射する。

生後 2 回目の RS ウイルス感染流行期には、通常、200mg を 1 回、筋肉内注射する。

1. 本剤はRS ウイルスF タンパク質の膜融合前構造に対する長時間作用型の遺伝子組換えヒト免疫グロブリンG1 κ モノクローナル抗体である。
2. 本剤はFc 領域中でM252Y/S254T/T256E (YTE)の3つのアミノ酸を置換することで、血清中の消失半減期を延長しており、固定用量の単回投与によって少なくとも5カ月の発症抑制効果を得ることを目的として開発された製剤である。
3. 本剤は体重に応じてあらかじめ用量が固定されており、細かく調整する必要がないプレフィルドシリンジ製剤である。
4. 本剤は 2024 年 11 月末日まで市販直後調査の対象となっている。
5. 薬価は 50mg 1 シリンジ 459,147 円、100mg 1 シリンジ 906,302 円。

ミチーガ皮下注用 60mg シリンジ

マルホ

組成：1 シリンジ中^{注)} ネモリズマブ（遺伝子組換え） 75mg

注)： 本剤は、溶解した薬液の投与時の損失を考慮し、1 シリンジからネモリズマブ（遺伝子組換え）60 mg を注射するに足る量を確保するために過量充填されている。

効能・効果： アトピー性皮膚炎に伴うそう痒（既存治療で効果不十分な場合に限る）

用法・用量： 通常、成人及び13歳以上の小児にはネモリズマブ（遺伝子組換え）として1回60mgを4週間の間隔で皮下投与する。

1. 本剤はインターロイキン 31 受容体 A（以下、IL-31RA）を標的とするヒト化抗ヒト IL-31RA モノクローナル抗体である。
2. 本剤は IL-31 と競合的に IL-31RA に結合することによって、IL-31 の受容体への結合及びそれに続く細胞内へのシグナル伝達を阻害し、そう痒を抑制することが示された製剤である。
3. 本剤は単回使用の Dual Chamber Syringe（二室式のプレフィルドシリンジ）に充填した製剤である。
4. 本剤は在宅自己注射指導管理料の対象薬剤である。
5. 本剤は 2024 年 12 月末日まで市販直後調査の対象となっている。
6. 薬価は 1 筒 116,426 円。

ロルファン注射液 1mg

武田テバ薬品

組成：1Ap（1mL）中 レバロルファン酒石酸塩 1mg

効能・効果： 麻薬による呼吸抑制に対する拮抗

用法・用量：麻薬投与前後あるいは投与と同時に皮下、筋肉内、又は静脈内注射する。投与される麻薬の種類、用法、用量等に応じて種々の投与法を行うが、一般に次の投与法が適当である。

投与量比率

レボルファノール/レバロルファン酒石酸塩 10 : 1

皮下又は静脈内注射

例・・・・・・・・レボルファノール 3mg 及び

レバロルファン酒石酸塩 0.3mg

モルヒネ/レバロルファン酒石酸塩 50 : 1

皮下又は静脈内注射

例・・・・・・・・モルヒネ 15mg 及び

レバロルファン酒石酸塩 0.3mg

アルファプロジン塩酸塩/レバロルファン酒石酸塩 50 : 1

皮下又は静脈内注射

例・・・・・・・・アルファプロジン塩酸塩 60mg 及び

レバロルファン酒石酸塩 1.2mg

ペチジン塩酸塩/レバロルファン酒石酸塩 100 : 1

筋肉内又は静脈内注射

例・・・・・・・・ペチジン塩酸塩 100mg 及び

レバロルファン酒石酸塩 1mg

(1) 産科的応用

○麻薬投与による母体及び胎児の呼吸抑制の予防

レバロルファン酒石酸塩はそれぞれ適当な比率で麻薬と同時に皮下あるいは筋肉内注射し、以後は必要に応じて 30 分以上の間隔で各 1/2 量を投与する。

○分娩時麻薬によって起こる新生児の呼吸抑制の予防（レバロルファン酒石酸塩を麻薬と併用していない場合）

分娩前 5～10 分にレバロルファン酒石酸塩 1～2mg を静脈内注射する。

○新生児の麻薬による呼吸抑制の治療

分娩後直ちに臍帯静脈にレバロルファン酒石酸塩 0.05～0.1mg を注射する。

○産婦の麻薬による呼吸抑制の治療

(4) の用法・用量に準ずる。

(2) 補助薬として麻薬を用いた麻酔

○麻薬による呼吸抑制の治療

レバロルファン酒石酸塩 0.5～1.5mg を静脈内注射する。

○麻薬による呼吸抑制の予防

レバロルファン酒石酸塩を適当な比率で麻薬と共与、あるいは麻薬投与の 4～6 分前に静脈内注射する。

投与後の呼吸機能が十分であれば更にレバロルファン酒石酸塩を投与する必要はないが、長時間にわたる手術あるいは麻酔終了時患者の呼吸機能が不十分であれば、更にレバロルファン酒石酸塩 0.4~0.6mg を1~数回投与する。

(3) 術前・術後又は内科での麻薬投与時

術前・術後の疼痛緩解のため及び内科患者に麻薬を投与した時に起こる呼吸抑制の予防には、必要に応じ、適当な比率で麻薬と同時に皮下あるいは筋肉内注射する。

(4) 成人の麻薬過量投与による呼吸抑制の治療

○過剰量が不明の場合

レバロルファン酒石酸塩 1mg を静脈内注射し、効果が現れれば更に必要に応じて3分間隔で0.5mgを1~2回投与する。

○麻薬及びその過剰量がわかっている場合

適当な比率で静脈内注射し、必要があれば次いで3分間隔でその1/2量ずつ1~2回投与する。

1. 本剤はモルヒネと対応した構造を持つレボルファンールのN-メチル基をN-アリル基に変えた麻薬拮抗剤である
2. 本剤の効果は投与後1~2分で発現し、その作用は2~5時間持続する製剤である。
3. 本剤は補助薬として麻薬を用いた麻酔の際の、麻薬による呼吸抑制の治療、麻薬による呼吸抑制の予防に有用性が認められている製剤である。
4. 本剤は成人の麻薬過量投与による呼吸抑制の治療に有用性が認められている製剤である。
5. 薬価は 1Ap 136 円。

【正規採用製造中止等に伴う切り替え医薬品】

インフルエンザHAワクチン「生研」

武田薬品工業

1. 本剤はインフルエンザHAワクチン「第一三共」からの切り替えである。
2. 薬価は なし。

カルベジロール錠 10mg「トーワ」

東和薬品

1. 本剤はカルベジロール錠 10mg「サワイ」からの切り替えである。
2. 薬価は 1錠 10.1 円。

セフトジジム静注用 1g「CHM」

ケミックス

1. 本剤はセフトジジム静注用 1g「サワイ」からの切り替えである。
2. 薬価は 1V 304 円。

ドブタミン塩酸塩点滴静注液 100mg「サワイ」

沢井製薬

1. 本剤はドブタミン点滴静注液 100mg「F」からの切り替えである。
2. 薬価は 1Ap 201 円。

ネリゾナ軟膏 0.1%10g/本

レオファーマ

1. 本剤はネリゾナ軟膏 0.1% 5g/本からの切り替えである。
2. 薬価は 1g 17.5 円。

ネリゾナユニバーサルクリーム 0.1% 10/本

レオファーマ

1. 本剤はネリゾナユニバーサルクリーム 0.1% 5g/本からの切り替えである。
2. 薬価は 1g 17.5 円。

ポララミン注 5mg

高田製薬

1. 本剤はネオレスタール注射液 10mg からの切り替えである。
2. 薬価は 1Ap 69 円。

モンテルカスト OD 錠 10mg「タカタ」

高田製薬

1. 本剤はモンテルカスト錠 10mg「三和」からの切り替えである。
2. 本剤は舌の上で崩壊するので、水なし又は水ありで服用できる製剤である。
3. 本剤はバナナ味の製剤である。
4. 薬価は 1錠 15.6 円。

ランソプラゾール OD 錠 15mg「トーワ」

東和薬品

1. 本剤はランソプラゾール OD 錠 15mg「サワイ」からの切り替えである。
2. 本剤は舌の上への唾液を浸潤させ舌で軽くつぶし、崩壊後唾液のみで服用可能な製剤である。
3. 薬価は 1錠 12.4 円。

ロピニロール徐放錠 2mg「トーワ」

東和薬品

1. 本剤はロピニロール徐放錠 2mg「サワイ」からの切り替えである。
2. 薬価は 1錠 53.3 円。

【院外専用採用から正規採用への

切り替え医薬品】

モイゼルト軟膏 1%

大塚製薬

1. 薬価は 1g 150.4 円。

【院外専用採用医薬品】

ホクナリンドライシロップ 0.1%

ヴィアトリス製薬

組成：1g 中 日局 ツロブテロール塩酸塩 1mg

効能・効果： 下記疾患の気道閉塞性障害に基づく呼吸困難など諸症状の緩解
気管支喘息、急性気管支炎、慢性気管支炎、喘息性気管支炎、肺気腫、
珪肺症、塵肺症

用法・用量： 通常、小児に対し、ドライシロップとして、1日 40mg/kg（ツロブテロール塩酸塩として 0.04mg/kg）を 2 回に分け、用時溶解して経口投与する。
ただし、年齢、症状により適宜増減する。なお、標準投与量は、通常、
下記の用量を 1 日 2 回に分け、用時溶解して経口投与する。

年齢	ドライシロップとして 1 日量 (ツロブテロール塩酸塩として 1 日量)
0.5～3 歳未満	0.25～0.5g (0.25～0.5mg)
3～9 歳未満	0.5～1g (0.5～1mg)
9～15 歳	1～2g (1～2mg)

1. 本剤は気管支筋に対して選択的に作用し、作用持続の優れた閉塞性気道疾患用剤である。
2. 本剤はヒスタミンによる気管狭窄を抑制し、その作用は12時間近く持続する製剤である。
3. 本剤の気管筋への作用選択性（対心臓への作用）はイソプロテレノール、サルブタモール、クロルプレナリンに比し、高いことが認められた製剤である。
4. 薬価は 1g 11.5 円。

【院外専用採用製造中止等に伴う

切り替え医薬品】

イドメシンコーワゾル 1% 45g/本

興和

1. 本剤はイドメシンコーワゾル 1% 30g/本からの切り替えである。
2. 薬価は 1g 3.8 円。

【院外専用採用規格変更医薬品】

エクロックゲル 5% (40g ツイストボトル)

科研製薬

1. 本剤はエクロックゲル 20g/本からの切り替えである。
2. 本剤は利便性向上を目的にボトルと塗布具を一体化し塗布時の操作を簡略化及び容器を小型化した製剤である。
3. 本剤は薬液に手を触れることなく塗布可能な製剤である。
4. 薬価は 1g 241.3 円。

【正規採用から院外専用採用への

切り替え医薬品】

ツムラ加味逍遙散エキス顆粒 (医療用)

ツムラ

1. 薬価は 1g 15.9 円。

【正規採用削除医薬品】

アレジオンドライシロップ 1%

日本ベーリンガーインゲルハイム

アロンアルファ A 「三共」

第一三共

インフルエンザ HA ワクチン 「第一三共」

第一三共

カルベジロール錠 10mg 「サワイ」

沢井製薬

セフトジジム静注用 1g 「サワイ」

沢井製薬

チモプトール点眼液 0.5%

参天製薬

ツムラ加味逍遙散エキス顆粒 (医療用)

ツムラ

ドブタミン塩酸塩点滴静注液 100mg「F」
ネオレスタール注射液 10mg
ネリゾナソリューション0.1%
ネリゾナ軟膏0.1% 5g/本
ネリゾナユニバーサルクリーム0.1% 5g/本
パージェタ点滴静注 420mg/14mL
ビタノイリンカプセル 50
ベラチンドライシロップ小児用0.1%
モンテルカスト錠 10mg「三和」
ランソプラゾールOD錠 15mg「サワイ」
ロピニロール徐放錠 2mg「サワイ」
ワゴステグミン注 0.5mg

富士製薬工業
富士製薬工業
レオファーマ
レオファーマ
レオファーマ
中外製薬
武田テバ薬品
ニプロ
三和化学研究所
沢井製薬
沢井製薬
共和薬品工業

【院外採用削除医薬品】

イドメシンコーワゾル 1% 30g/本
エクロックゲル 5% 20g/本
モイゼルト軟膏 1%

興和
科研製薬
大塚製薬